

私は 2023 年（令和五年）中小企業診断士試験に合格することができました。

2020 年に TAC の 1.5 年コースに通い始め予定通り 2 年目で 1 次試験合格しましたが、2 次試験では不合格（4 事例順に CCCB のスコア）でした。某社 A と某教材 B をかなりやり込んで受けていたつもりでしたが、スコアが低く、これはやり方を変えないと合格は難しいと判断し、MMC の門を叩きました。MMC の通期パックのコースを選択し、課題は遅延気味になりながらも全てこなし、zoom にて受講しました。迎えた 2022 年の 2 次試験でも不合格（4 事例順に CBBA で 234 点のスコア）でしたが、学んできた方向性は正しいことが確認できました。2022 年に合格できなかった理由として、MMC の課題をこなすのに時間を要していたので、ほぼ復習ができていなかったことが原因と考えました。2023 年は 1 次試験からやり直しになるので、このまま続けるべきかかなり迷いましたが、もう 2 年で合格するつもりで、1 日 30 以内の勉強程度に抑えて、1 次試験にのぞんだところ、470 点と難なく合格することができました。そして 2 次試験勉強は去年の回答集から、テーマごとの記載例を集め、模範解答と自分の回答を見比べ、なぜ点数が伸びないのかを大まかに把握しました（例：テーマとして事例 2 では強み、弱み、3C 分析、差別化戦略、違い等自分にとってわかり易いように分類し、すぐに確認・復習できる体制を整えた）。そして迎えた 2 次試験では、MMC の模範解答までは行かなくとも、型をある程度意識した回答が記載できたと思います。事例 4 は計算ミスが多いことが後でわかり不安だったのですが、どうしてその計算になるかをきちんと補足説明を記入していました（例：毎年の CF=営業利益(1-税率)+減価償却費、 $NPV=-投資額 - 運転資本+年金現価係数 * (X1-X5 年の CF)+X5 年の複利現価係数 (運転資本の処理額+機器売却額-売却の税金)$ ）。このことは他受験者との差として多少の点数に繋がっていた可能性があります。試験終了後は確実な自信は持てませんでしたが、最終的には 4 事例順に BAAA で 248 点のスコアでした。

徳川先生をはじめ講師の方々のご指導ありがとうございます。MMC の教えがなかったら私は今合格にはたどり着けませんでした。心から感謝申し上げます。今後はご指導いただいたことを活かし頑張っていきたいと思っております。